

和文化教育学会

和文化講座

世界無形文化遺產

狂言

可笑しみの芸能

狂言



柿山伏

講師プロフィール

大藏流狂言師

岡村ひろのぶ

(故) 四世茂山忠三郎倅一
五世茂山忠三郎良暢に師事

2017年「面箱」を披く

2018年「千歳」を披く

関西を拠点に、猿樂會ほか全国の
能舞台に出勤。

その他、学校公演や教育旅行、外国人
観光客向けの狂言鑑賞やワークショップ
講師を務め、伝統芸能および和文化の
普及に努めている。



可笑しみの芸能（狂言）

- 1、日本文化の基本思想
- 2、能と狂言
- 3、狂言について
- 4、登場人物キャラクター
- 5、表現様式（運足／感情表現）
- 6、講座について

1. 日本文化の基本思想

- 陰陽思想 万物を陰と陽の二つの要素の消長において観る。
一方がなければ、もう一方もない。
陰・陽の両方がそろって調う。

陰	陽
月	太陽
裏	表
冬	夏
水	火
女性	男性

※ 陰陽は、善悪や優劣の価値判断の差異ではない



2、能と狂言 (世界無形文化遺産)

能 → 悲劇



狂言 → 喜劇



同じ能舞台で能 (陰) と狂言 (陽) を交互に上演することで陰陽和合し調う。

能楽について

■ 歴史



■ 能楽 (能と狂言)

能 ⇒ 悲劇



主人公：**幽霊**
主人公は**固有名詞**で登場。
(平知盛、夕顔など)

この世に未練を残して
亡くなった者たちが、
回向を願うストーリー。

狂言 ⇒ 喜劇



主人公：**生きている生活人**
主人公は**普通名詞**で登場。
(太郎冠者、主、山伏、女、耕作人など)

日常の失敗談や滑稽談が中心。
人が死ぬストーリーは無い。
天気の設定も雨はない。

3. 狂言について

能楽 { 能 謡と文語 (書き言葉) で演じられる和製ミュージカル
狂言 セリフ (話し言葉) と仕草の対話劇

■可笑しみの芸能(喜劇)

日常生活に溶け込んだ普遍的な笑い
心のなごむ和らいの世界

■寿ぎの芸能(邪を払う)

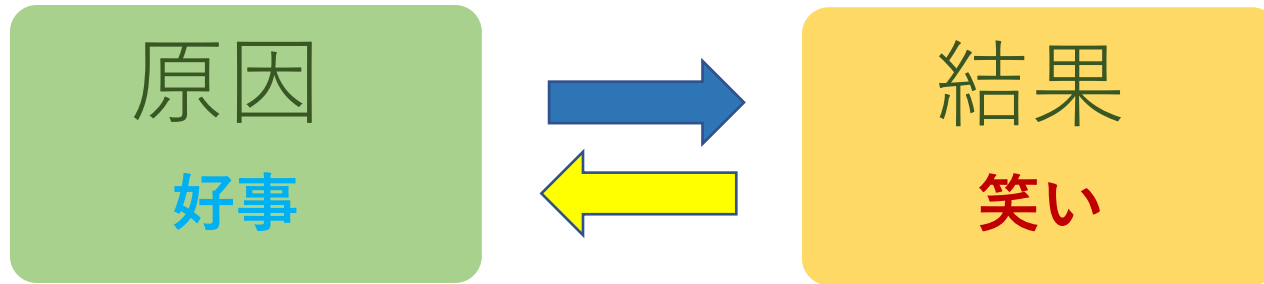
神事としての奉納芸

(国家安穏・五穀豊穰 祈祷)



笑う門には福来る

古来、笑うことによって好事を呼び寄せようとする
習わしがある。



好事の結果、**笑い**が起こる。 ➡ **笑い**を先立てることで、
未来の**好事**（**幸せ**）が約束される。

原因 ➡ 結果

結果 ➡ 原因

狂言の笑いは、単に**面白さ**や**滑稽さ**を表すだけではなく、
お目出度い出来事を引き寄せようとする願いと深く結びつ
ている。 **（予祝の笑い）**

言祝ぎの笑い

言祝ぐ (ことほぐ) 「言 (こと) 祝 (ほ) く」

「祝く」は「**よい結果が得られるように、**
先に祝福の言葉を唱える」という意味。

「言」 = 「事」になると信じながら、
幸を招こうと、祈り言葉を口にする。

めでたい言(言葉)を口にすると、本当に事(幸せ)が訪れる



幸せを招く言葉の力 (引き寄せの法則)

日本古来の「言霊信仰」のなごり。

4、狂言の登場人物（壱）

■ 普通名詞(立場や職業)で登場

太郎冠者

主人に仕える「使用人」

冠者とは「成人男性」

使用人 1 = 太郎冠者

使用人 2 = 次郎冠者

使用人 3 = 三郎冠者

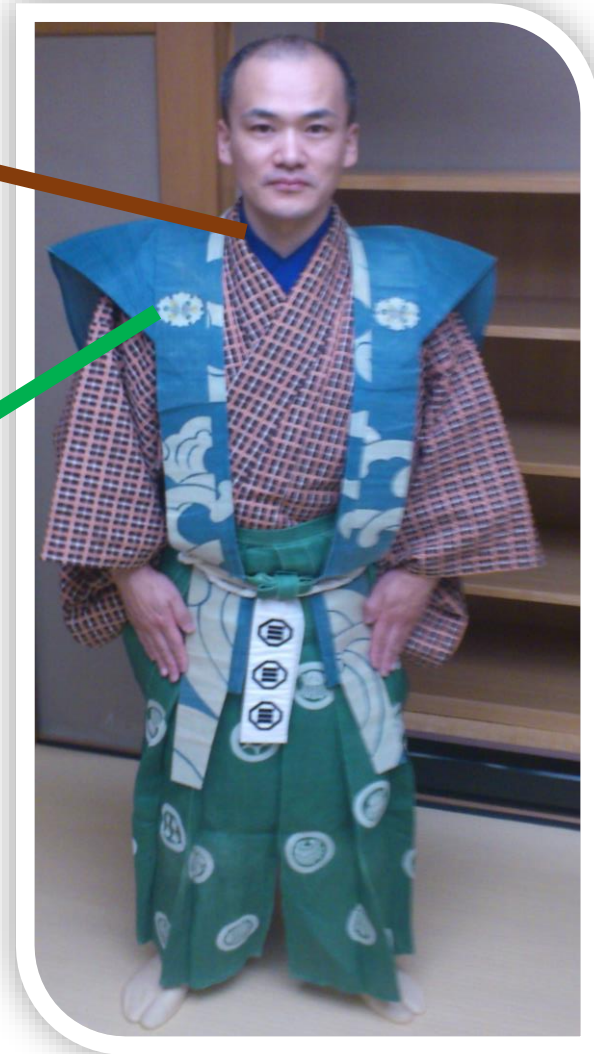


〔性格〕

おっちょこちょいで、
すばしっこくてお酒好き。
怠け者で横着だけど、
お人よしで愛嬌があって
憎めない性格。
主人の用命で、失敗ばかり。

衿が濃い色は、身分の
低さを表す。
働いて汗をかいたため
襟汚れが目立たない
ように。

狂言の家紋
雪輪にタンポポ
厳しい冬に負けず、冷たい雪
の下でもシツカリ根を張って
生きるタンポポのたくましい
姿に、庶民の芸能「狂言」の
誇りを表している。



4、狂言の登場人物（貳）

太郎冠者の主人

主(しゅう)

偉そうにしているが家来が一人か二人の小名。

人使いが荒く、怒りっぽい人物として描かれることが多い。

その一方、どこか間が抜けていたり、太郎冠者と一緒に調子に乗って浮かれたり、と憎めない一面を見せたりもする。

長袴を着用し、小刀を差す。

衿は、薄い色を着用。

(家来のような汗染みの働きなどはしないため、襟汚れを隠す濃色の襟の必要がない)



4、狂言の登場人物（参）

山伏 見かけ倒しの修行者

厳しい修行をして法力を身に付けたと自称する宗教者が、山伏。数珠を揉みながらの祈禱も、偉そうに振る舞うわりには、その法力に効き目はない。祈禱に失敗する滑稽な姿が、山伏を身近なものに感じさせます。



女 うるさいけれど働き者の妻

狂言に登場する女性は、行動力と愛情に富んでいる。頼りない夫を叱ったり励ましたりする**わわしい**（うるさく騒がしい）妻が、代表的な役所。

「びなん」という白い布を頭に巻き長く垂らすのが、女性の役柄の印。

男性の役者が、面を着けずに演じます。




5、狂言の様式（壺）

■ **型** 狂言の表現は、「型」という様式の伝承に基づいて行われる。

型(かた)は、やり方(かた)

(1) 歩き型・・・運足(はこび) ➡ すり足

すり足			
(能)			
腰を落とし滑るように歩く。体の奥の筋肉を鍛え、バランス感覚も養う	 両手は腰に置き、腰を落としひざを少し曲げてやや前傾に	 足裏を見せないように前傾姿勢で歩幅を狭く、ゆっくり歩く	 足を動かしている途中で指を少し上げ、終点で下ろす

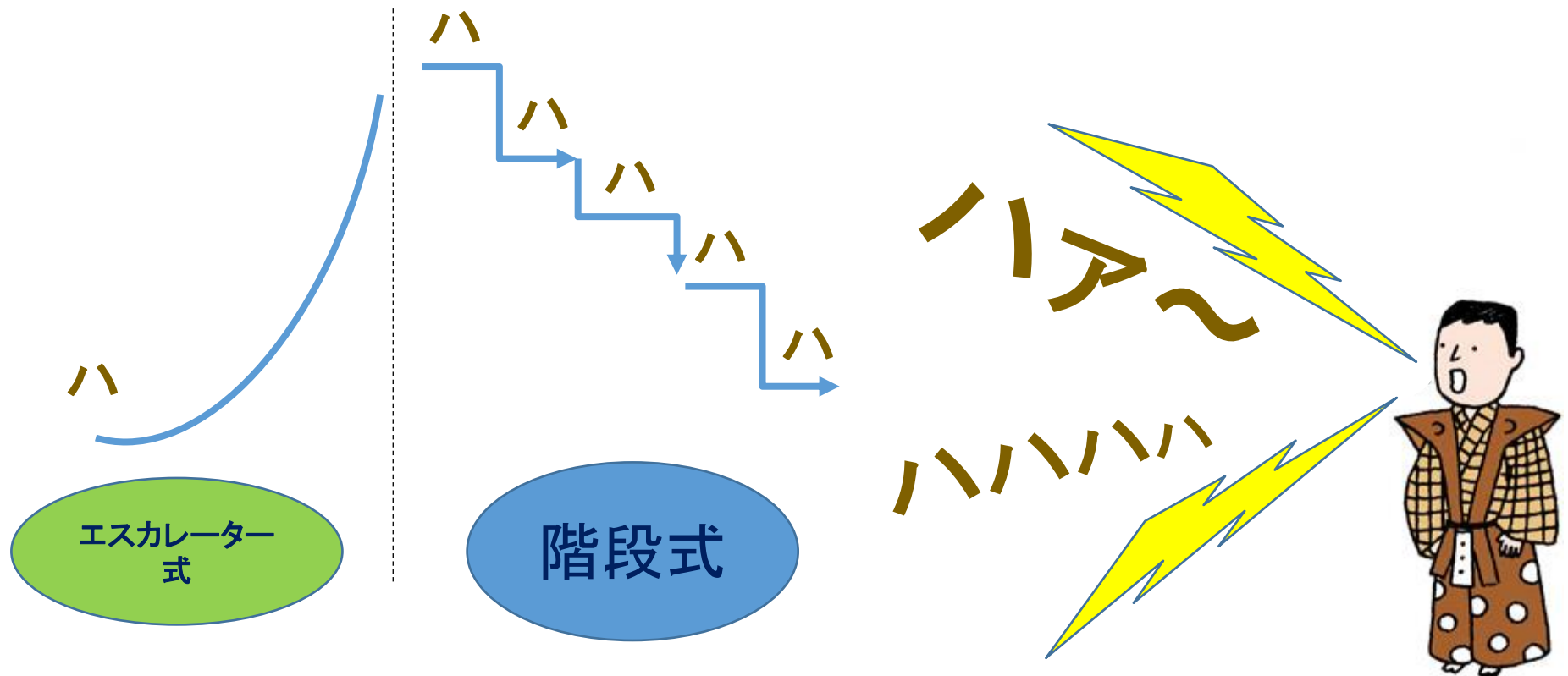


左足から歩き出して、**右足**をそろえて止まる。

5. 狂言の様式 (貳)

(2) 笑い型・・・感情表現 ➡ 大笑い・中笑い・小笑いの3パターン
狂言の声は、非常に大きいのが特徴。

大笑い・・・ 楽しさ + おめでたさ を表現した笑い



講座 狂言ワークショップ



今日(狂)も元(言)気に大笑い！

■ 講座内容

- 1) 狂言についての解説
- 2) 動いてみよう！
構え（基本姿勢） 歩き方（すり足）
- 3) 声を出してみよう！
「大笑い」の型の実践
- 4) 謡（うたい）
「盃（さかづき）」を謡ってみる。
- 5) 狂言小舞
「盃（さかづき）」（短縮版）を謡いに合わせて舞ってみる。

※講座参加時のお願いと持ち物

- 1) マスク着用（コロナ対策）
- 2) 白足袋（タビックスも可）

* 初めての方でも皆で声を出しながら、少しずつ進めて参りますので
お気軽にご参加ください。

